

## 小口・家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討(4) — 家庭系有害廃棄物の住民アンケートについて —

辰市 祐久 高橋 昌史 中浦 久雄

### 要 旨

適正処理困難物の処分方法について、23区内の家庭を対象にアンケート調査を行った。調査結果を見ると、カーバッテリー、消火器は、新品購入時等に交換・処分をしてもらうのが一般的であり、ごみ集積所への排出件数は少なかった。なお消火器は必ずしも購入時に交換しないためか、不用物の保有件数が多く、その処分に困っていることが自由意見からも伺えた。また、塗料は紙等にしみこませた後、集積所に出す件数が多く、販売店等への持ち込みは少なかった。ごみ集積所への不適正排出、不用物の保有件数は、カーバッテリー<消火器<塗料の順であった。一方、中身を出した後の排出が認められているスプレー缶等では、危険性のあるものや中身が少量なものを不適正排出する件数が、他の廃棄物に比べ多く認められた。

キーワード：家庭系有害廃棄物、カーバッテリー、消火器、塗料、アンケート調査

## A Study on Management of Household Hazardous Waste (4) — Results of Resident Questionnaire Survey on Household Hazardous Waste —

TATSUICHI Sukehisa, TAKAHASHI Masashi, NAKAURA Hisao

### Summary

We performed the questionnaire survey for the home in 23 wards about the wastes which are difficult to handle properly. The results are as follows. Car batteries and fire extinguishers are usually exchanged and disposed at the time of new article purchase. There was little number of cases carried into the designated collection point. In addition, fire extinguishers are not necessarily exchanged at the time of purchase. So, many fire extinguishers which became unnecessary are kept and people are troubled by the disposal. This became clear also from free opinion in the questionnaire.

And, in the case of paints, there were a lot of cases carried into the designated collection point after infiltrating paper etc. There were few case brought to a store etc.

The improper discharge to the designated collection point and possession of unnecessary thing were in the following order: car battery < fire extinguisher < paints. On the other hand, as for the spray cans which emitted contents, discharge is admitted. However, compared with other wastes, there were many cases which carry out improper discharge of a dangerous content and the cans with which a little contents remain.

**Keywords :** household hazardous waste, car battery, fire extinguisher, paints, questionnaire survey

### 1 はじめに

家庭には有害な化学物質を含む、あるいは危険性のあるごみ（家庭系有害廃棄物）が蓄積されているが、これらを廃棄する場合、適正処理困難物として自治体では収集されず、販売した業界による回収体制も不十分なことが多い。

当所ではこれまで、家庭系有害廃棄物について、排出実態の調査<sup>1)</sup>、欧米における回収システムの調査と紹介<sup>2)</sup>、全国の自治体における排出禁止物の取扱い・不適正排出の実態、住民相談状況の調査<sup>3)</sup>を行ってきた。また、浅利ら<sup>4)</sup>は京都市における家庭系有害製品の市民アンケート調査の中で、蛍光灯、電池やスプレー缶等の廃棄行動やそれらに対する知識・関心、蛍光灯や塗料の回収方法について報告している。

今回は家庭系有害廃棄物のうち、区の収集で問題とされている、カーバッテリー、消火器、塗料、スプレー缶等について、どの程度家庭内に保有され、これらをどの様に処分しているかの実態を明らかにするため、アンケート調査を行ったので、その集計結果を報告する。

### 2 調査方法

#### (1) アンケート発送と調査期間

アンケートの調査対象は都内の住宅地域に居住する約3,000世帯とし、平成17年2月に各家庭を直接訪ねてアンケートの趣旨を説明して手渡した。不在の場合はそのまま調査票を郵便ポストに投函した。アンケート記入後の回収は無記名で郵便により本研究所に送付してもらった（3月15日回答期限）。

#### (2) 調査項目の選定

東京23区では区が収集しない適正処理困難物として、次のものがある。

ア 有害性のあるもの、危険性のあるもの、引火性のあるもの、著しく悪臭を発するもの：（例）ガスボンベ等、石油類、工業薬品、花火、印刷用インク、マッチ、現像液、自動車用燃料添加剤、バッテリーなど

イ 処分場の管理又は処分作業に支障をきたすおそれのあるもの：（例）消火器、金庫、薬品類など

各区では、これらの廃棄物について、専門の業者又は販売店に相談するように指導している。このため、今回のアンケートでは区の収集で問題とされるものを

調査することにした。

#### (3) 調査項目

アンケートの主要な調査項目は次のとおりである。（文末添付のアンケート調査票参照のこと）

ア 回答者の居住状況

イ カーバッテリーについて購入、交換の方法、処分数及び処分の方法

ウ 消火器について設置数、処分数及び処分の方法

エ 塗料等の不用品数、処分数及び処分の方法

オ スプレー缶、カセットボンベ、ライターの不用品数、処分数

カ 自由意見

### 3 アンケートの集計結果

アンケートの回答数の集計結果は、調査項目別の文末の添付を参照されたい。

#### (1) アンケートの回収状況

発送3,000件に対し、回答数1,026件が得られ、回収率は34%であった。アンケート回答者の89%は一戸建てに居住し、回答者世帯の人数は平均で3.0であり、東京都区部の世帯数の平均2.0（平成17年1月）<sup>5)</sup>よりも多い人数となっていた。また、回答者の約74%は居住年数が10年以上であり、次いで約13%が5年以上10年未満となり、長年住んでいる家庭が多く、家の中に有害物を保有している可能性が高いと考えられた。

#### (2) カーバッテリーについての集計結果

カーバッテリーを取り扱うのは、自動車の所有者と考えられるため、自動車の所有の有無を確認した。その結果、回答のあった995件の内、半数以上の575件が自動車を所有していた。

バッテリーを購入、交換した場所を表1に集計した。質問の回答を複数でも可としたため、自動車を有している件数より多くの回答数があった。その内訳は自動車の定期点検時に交換しているのが約70%であり、ついでガソリンスタンドで交換していた。定期点検時や

表1 バッテリーの購入・交換場所（複数回答）

場所	回答数	割合 %
定期点検時に交換	423	69.3
GS等で購入時に交換	145	23.8
GS等で購入し、自分で交換	27	4.4
その他	15	2.5

ガソリンスタンド等で交換する場合にはカーバッテリーを事業者が引き取ることになる。このため、カーバッテリーを自分で廃棄する可能性があるのは自分が取り付ける場合で、複数回答全体の内 4.4 % 程度であった。

家庭内にある不用のバッテリーについて集計した結果、回答数 604 件の内、不用のバッテリーを保有している家は 25 件あり、保有数は平均 1.5 個、最大 4 個であった。

不用バッテリーの処分の有無を集計したところ、回答があった 597 件の内、140 件が処分を行っていた。バッテリーの処分先と件数を図 1 に示した。処分の回答件数（複数回答を含む）は 189 件あり、処分先は、ガソリンスタンド、販売店、整備工場が大部分を占め、ごみ集積所に排出した件数は、5 件（2.6 %）であった。また、この値は自動車を持つ家庭数 575 あたりに換算すると 0.87 % となり、カーバッテリーをごみ集積所等に排出した経験がある家庭は、比較的少ないことが分かる。

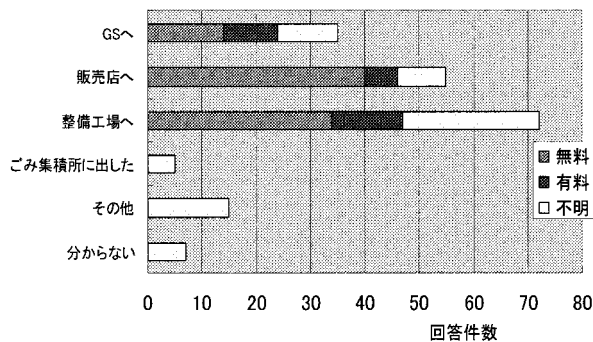


図 1 バッテリーの処分先

なお、バッテリーの回収については電池工業会が都内に一区当たり 2 か所程度の無料回収拠点を設けているが、図 1 を見ると、有料で処分してもらっている件数も多い。

使用済みのバッテリーは販売店、ガソリンスタンド等から回収業者を経て、解体され、鉛は精錬事業者を経てバッテリーの製造会社にリサイクルされている。

(3) 消火器についての集計結果

消火器の所有状況については、1,000 件の回答の内、回答者の 67 % が家庭に消火器を備え、消火器の保有本数は平均 1.7 本であった。不用となった消火器を使用期限が過ぎても捨てないで持ち続けている家庭は 969 件中 110 件有り、本数は平均 1.4 本であった。

消火器の処分で困った経験のある回答者数を表 2 に示した。表 2 から、消火器の処分に困ったとの回答が 22 % あり、カーバッテリーと異なり、新品購入時に必ずしも交換しないためか、処分方法に困ることが多いことを示していた。

表 2 消火器の処分で困った経験

	回答数	割合%
あり	208	22.1
なし	734	77.9

消火器を実際に処分したことの有無についての回答を表 3 に示し、その消火器の処分先については、複数回答の集計結果を図 2 に示した。

表 3 消火器の処分の有無

	回答数	割合%
あり	281	28.9
なし	693	71.1

図 2 より新品の購入時に古い消火器を業者が引き取るのが最も多い。次に販売店に引き取ってもらった場合が多く、その中には処分できず、家庭内に保有しているものが多く含まれていた。消火器保有数の内、ごみ集積所に排出した回答数の比率は 4.5 % でバッテリーに比べると高い割合で排出されていた。

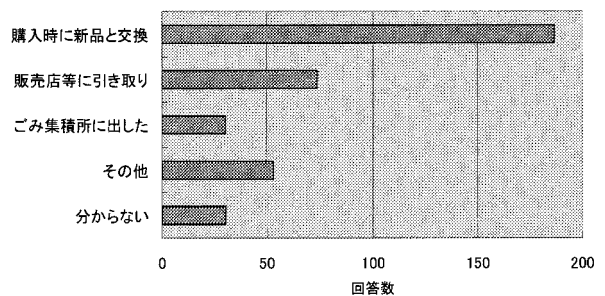


図 2 消火器の処分先

消火器の金属容器については従来からリサイクルされていたが、消火薬剤は主に埋め立て処分されていた。

消防庁の報告<sup>6)</sup>によると消火薬剤の肥料原料化や再生薬剤化の技術が進み、品質さえ確保できればリサイクルできる仕組みが技術的にはできている。このため、家庭内にある古い消火器をいかに効率的に回収するかが課題となっている。

(4) 塗料・シンナー等についての集計結果

塗料・シンナー等に関する回答数 992 件の内、家庭に不用品があるとの回答は 160 件 (16.1%) であった。

不用品の内訳を複数回答で表 4 に示した。この中では塗料との回答が最も多く、塗り残したためと思われるが、平均 1.8 個保有していた。次いで灯油が多く、石油ストーブ等で使用していたものが残ってしまったと思われる。

表 4 塗料・シンナー等で不用品 (複数回答)

項目	回答数	不用品の個数	
		平均	最大
塗料	88	1.8	10
シンナー	21	1.1	2
灯油	55	1.4	5
エンジンオイル等	12	1.3	2

また、自動車用に交換したと思われるエンジンオイルも少数含まれていた。

塗料・シンナー等の処分の有無についての回答数 969 件の内、処分した経験のある回答者は 152 件 (15.7%) であった。その処分方法について複数回答で図 3 に示した。回答の 43% が中身を紙等にしみこませ、ごみ集積所に排出しており、空の容器は不燃ごみとして排出したものと考えられた。これは残った塗料等が比較

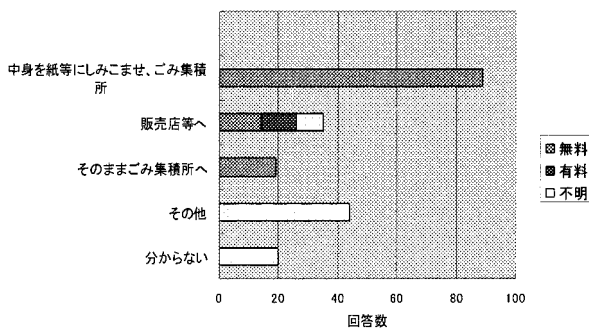


図 3 塗料・シンナー等の処分先

的少量の場合と考えられ、残量が多い場合は販売店等に持ち込まれたと思われる、有料で処分したケースもある。

塗料等が残されたままの容器がごみ集積所へ排出された件数は複数回答の内 9.2% であった。

(5) スプレー缶等についての集計結果

東京 23 区では、スプレー缶等は排出禁止物ではないが車両火災等の原因の一つとなるため、中身を使い切るか、中身が残っている場合は缶の栓を開放しガスを出し切って不燃ごみに排出することになっている。中身の入っているスプレー缶で不用品を保有しているのは 997 件の内、314 件 (31.5%) であった。種類の不用スプレー缶の個数を表 5 に示した。

表 5 不用なスプレー缶の個数

種類	平均個数	最大数	回答件数
化粧品	1.9	10	169
殺虫剤	1.6	5	140
塗料	1.9	5	45
その他	2.2	6	29

家庭に保有されているスプレー缶は使用数の多い化粧品や、中身が残っていても危険なため捨てにくい殺虫剤であり、平均ではそれぞれ 2 個程度であった。

卓上コンロなどに使用されるカセットボンベについて、不用でも家に保有しているとの回答は、回答数 976 件の内、81 件 (8.3%) であり、保有数は平均 2 個程度であった。また、不用なライターは回答数 974 件の内、152 件 (15.6%) であり、保有数は平均 5 個程度であった。

中身の入っているスプレー缶、カセットボンベ、ライター等をごみ集積所に排出したことがあるとの回答は 995 件の回答の内 20% 程度で今回の調査の中で最も多かった。中身が入ったままスプレー缶等を廃棄した理由について表 6 に集計した。多くは中身が少量なためであり、次いで中身を出すのが面倒なことが挙げ

表 6 スプレー缶等を廃棄した理由 (複数回答)

理由	スプレー缶 (化粧品)	スプレー缶 (殺虫剤)	スプレー缶 (塗料)	カセットボンベ	ガスライター
中身が少量	84	61	18	24	62
出すのが危険	9	16	2	13	13
残っていても問題なし	9	10	3	2	3
出すのが面倒	19	17	10	8	16
その他	26	27	9	14	23
分からない	3	5	6	4	6



られる。更に殺虫剤のスプレー缶やガスライターでは中身を出すのが危険との理由が見られた。スプレー缶やカセットボンベについては中身を出す手段があるが、ライターについては容器内の燃料を取り出すのが困難であり、その量も少ないため、そのまま排出することが多いと考えられる

(5) 自由意見について

排出禁止物の出し方等について自由意見を表7に示す。このうち、主な意見は以下のとおりである。

全体的には“排出禁止物についての広報等PRをもっとすべき”との意見が最も多く、次いで有料化を含め、区の収集を希望する意見も多かった。また、“資源回収・リサイクルを拡大すべき”との意見も多かった。

一方、個別の廃棄物については、“消火器の処分に困

った”という意見がバッテリーや塗料、灯油等よりも多く見られ、区で収集して欲しいとの要望もあった。また、スプレー缶では、“処分に困った”という意見の一方、同数程度の意見で、“穴を開けて中身を排出した”が多く見られ、PRの浸透が伺われた。

4 おわりに

カーバッテリー等の適正処理困難物について、23区内の家庭を対象に、家庭内での保有数、処分方法についてアンケート調査を行った。

調査結果を見るとカーバッテリーや消火器は、新品購入時等に交換・処分をしてもらうのが一般的であり、ごみ集積所への排出件数は少なかった。なお、消火器は、必ずしも購入時に交換しないためか、不用物の保

表7 自由意見

項目	区分	意見内容	件数 (複数回答)		
排出禁止物の 排出と収集対 策	排出の方法	良くやっていてありがたい	13		
		ごみの排出について再考させられた	9		
		処分に困る物は買わないようにしている	6		
		適正なごみの排出を実行している	27		
		適正なごみ排出をしない人がいて困る	18		
		排出禁止物についての広報等PRをもっとすべきだ	66		
		排出禁止物以外についての広報等PRをもっとすべきだ	27		
		ごみの分別の仕方が分からない	14		
		ごみの分別・収集方法を変更してほしい	18		
		ごみの分別・排出が大変である	8		
		自治体ごとに収集するごみの種類が異なるので困る	6		
		資源回収・リサイクルを拡大すべきである	24		
		排出禁止物対 策	排出禁止物対 策	排出禁止物の捨て方が分からない	4
				排出禁止物をどこに持って行ったらよいのか分からない	2
排出禁止物を区で収集してほしい	25				
排出禁止物を区で収集してほしい(有料でも可)	24				
排出禁止物を販売店等で回収すべき	6				
排出禁止物を販売店等で回収すべき(有料でも可)	7				
個別の排出禁 止物等の処理	リサイクル品の 処理	ペットボトルを区で収集してほしい	38		
		トレイを区で収集してほしい	9		
		紙パックを区で収集してほしい	3		
	電池の処理	電池の処理	乾電池の捨て方が分からない	12	
			乾電池の処分に困った	8	
			乾電池を区で収集してほしい	13	
			バッテリーの処分に困った	3	
	消火器の処理	消火器の処理	バッテリーを区で収集してほしい	6	
			バッテリーを販売店等で回収すべきである	2	
			消火器の処分に困った	16	
			消火器を区で収集してほしい	13	
	塗料の処理	塗料の処理	塗料の処分に困った	5	
			塗料を区で収集してほしい	7	
	灯油の処理	灯油の処理	灯油の処分に困った	4	
			灯油を区で収集してほしい	1	
	油の処理	油の処理	オイル・油類の処分に困った	1	
			オイル・油類を区で収集してほしい	2	
	薬品の処理	薬品の処理	薬品類の処分に困った	6	
	可燃物の処理	可燃物の処理	スプレー缶の処分に困った	22	
			スプレー缶に穴を開けて排出している	17	
			スプレー缶を区で収集してほしい	9	
			カセットボンベの処分に困った	5	
			カセットボンベを区で収集してほしい	7	
			ライターの処分に困った	9	
			ライターを区で収集してほしい	6	
	粗大、家電の処 理	粗大、家電の処 理	ライターを販売店等で回収すべきである	1	
			粗大ごみの処分に困った	11	
粗大ごみを区で収集してほしい(集積所、各家庭)			13		
家電製品、パソコン等を区で収集してほしい			13		
その他	その他	家電製品、パソコン等を区で収集してほしい(有料でも可)	1		
			28		

有件数が多く、その処分に困っていることが自由意見からも伺えた。また、塗料等は紙等にしみこませた後、集積所に出す件数が多く、販売店等への持ち込みは少なかつた。ごみ集積所への不適正排出、不用物の保有件数は、カーバッテリー<消火器<塗料の順であつた。

一方、中身を出した後の排出が認められているスプレー缶等では、危険性のあるものや中身が少量なものを不適正排出する件数が、他の廃棄物に比べ多く認められた。

自由意見は、広報 PR の徹底、有料でも良いから区の処分を望む意見が多かつたが、カーバッテリーや消火器、塗料等では、調査結果を見ると、販売店での引き取り、処分が、有料な場合を含めて、相当程度行われていることを考えると、今後、その制度化の促進と PR が重要になると考える。

### 参考文献

- 1) 四阿秀男ら：小口・家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討(1)、東京都環境科学研究所年報 2002、pp.174-181 (2002)
- 2) 四阿秀男ら：小口・家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討(2)、東京都環境科学研究所年報 2003、pp.179-185 (2003)
- 3) 四阿秀男ら：小口・家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討(3)、東京都環境科学研究所年報 2004、pp.153-164 (2004)
- 4) 浅利美鈴ら：家庭系有害製品の廃棄行動・意識に関する市民アンケート調査～有害危険ごみ～、第 15 回廃棄物学会研究発表会講演論文集 2004、pp.122-124 (2004)
- 5) 東京都総務局統計部人口統計課住民基本台帳による世帯と人口、平成 17 年 (2005)
- 6) 総務省消防庁消火器・防災物品リサイクル推進委員会：消火器・防災物品リサイクルの推進について～報告書～、平成 17 年 3 月 (2005)

### アンケート調査票

問 1 回答者の家庭の状況についてお聞きします。

居住地の区の名称 : .....区  
 家の状況 : 一戸建て 集合住宅  
 居住人数 : .....人  
 居住してからの年数: 1 年未満 5 年未満 10 年未満  
 10 年以上

〔自動車用バッテリーについてお聞きします。〕

問 2 自動車又はオートバイをお持ちですか？

ア はい → 問 3 へ  
 イ いいえ → 問 7 へ

問 3 自動車またはオートバイ用のバッテリーをどこで購入・交換していますか？

ア 定期点検時に整備工場等で交換  
 イ ガソリンスタンド、自動車部品販売店等で購入した時に交換  
 ウ ガソリンスタンド、自動車部品販売店等で購入し、自分又は家族が交換  
 エ その他 ( )

問 4 不用のバッテリーがありますか？

ア はい → いくつありますか？ ( 個)  
 イ いいえ

問 5 バッテリーを処分したことがありますか？

ア はい → 問 6 へ  
 イ いいえ → 問 7 へ

問 6 不用となったバッテリーはどのように処分しましたか？

ア ガソリンスタンドに持っていった。→ (無料・有料)  
 イ 販売店に持っていった。 → (無料・有料)  
 ウ 自動車整備工場等に持っていった。→ (無料・有料)  
 エ ごみ集積所に出した。  
 オ その他 ( )  
 カ 分からない。

〔消火器についてお聞きします。〕

問 7 あなたの家庭では消火器を置いていますか？

ア はい → いくつありますか？ ( 個)  
 イ いいえ

問 8 不用の消火器がありますか？

ア はい → いくつありますか？ ( 個)  
 イ いいえ

問9 消火器の処分で困ったことがありますか？

- ア はい
- イ いいえ

問10 消火器を処分したことがありますか？

- ア はい → 問11へ
- イ いいえ → 問12へ

問11 消火器はどのように処分しましたか？

- ア 購入時に新品と交換した。
- イ 販売店等に引き取ってもらった。
- ウ ごみ集積所に出した。
- エ その他 ( )
- オ 分からない。

[塗料(スプレーを除く)、シンナー、灯油等についてお聞きします。]

問12 中身が入っている塗料、シンナー、灯油等の缶や瓶で、不用なものはありますか？

- ア はい → 塗料 ( 個)  
シンナー ( 個)  
灯油 ( 個)  
その他(エンジンオイル等) ( 個)
- イ いいえ

問13 中身が入っている塗料、シンナー、灯油等の缶や瓶を処分したことがありますか？

- ア はい → 問14へ
- イ いいえ → 問15へ

問14 塗料、シンナー、灯油等はどのように処分しましたか？

- ア 中身を布や紙に染み込ませ、ごみ集積所に出した。
- イ 中身が入っている缶や瓶を販売店やガソリンスタンドに引き取ってもらった。 → (無料・有料)
- ウ 中身が入っている缶や瓶をごみ集積所に出した。
- エ その他 ( )
- オ 分からない。

[スプレー缶、カセットボンベ、ライターについてお聞きします。]

問15 中身が入っているスプレー缶の内、不用となったものがありますか？

- ア はい →  
ヘヤースプレー等の化粧品 ( 個)  
殺虫剤 ( 個)  
塗料 ( 個)  
その他 ( 個)
- イ いいえ

問16 中身が入っているカセットボンベの内、不用となったものがありますか？

- ア はい ( 個)
- イ いいえ

問17 中身が入っているライターの内、不用となったものがありますか？

- ア はい ( 個)
- イ いいえ

問18 中身が入っているスプレー缶、カセットボンベ、ライターをごみ集積所に出したことがありますか？

- ア はい → 問19へ
- イ いいえ → 問20へ

問19 中身が入っているスプレー缶、カセットボンベ、ガスライターを処分した理由は何ですか？それぞれごとに、当てはまる理由の欄に○を記入してください。

理由	スプレー缶 (化粧品)	スプレー缶 (殺虫剤)	スプレー缶 (塗料)	カセットボンベ	ガスライター
中身が少量だから					
中身が出けぬ程空だから					
中身が残っていても問題ないから					
中身が出けぬ程空だから					
その他					
分からない					

問20 区で収集しないごみについて自由なご意見をお聞かせ下さい。

アンケートの集計結果

問い	区分	回答数	
Q1 回答者の家庭の状況 居住地の区分	A区	301/925*1	
	B区	393/1137*1	
	C区	313/938*1	
	その他	13	
	無回答	6	
	計	1026	
	家の状況	一戸建て	906
		集合住宅	113
		無回答	6
		計	1025
	居住人数	平均	3.00人
	居住年数	1年未満	25
		5年未満	111
		10年未満	134
10年以上		750	
無回答		5	
計		1025	
<b>[自動車用バッテリー]</b>			
Q2 自動車等の保有	ア あり	575	
	イ なし	420	
	無回答	30	
	計	1025	
Q3 バッテリーの購入・交換(複数回答)	ア 定期点検時	423	
	イ 購入時交換	145	
	ウ 自分で交換	27	
	エ その他	15	
	計	610	
Q4 不用のバッテリーの有無	ア あり	25	
	イ なし	579	
	計	604	
	平均個数	1.52個	
最大	4個		
Q5 バッテリーを処分したことがあるか。	ア はい	140	
	イ いいえ	457	
	計	597	
Q6 バッテリーの処分先(複数回答)	ア ガソリンスタンド		
	無料	14	
	有料	10	
	処分先のみ	11	
	イ 販売店		
	無料	40	
	有料	6	
	処分先のみ	9	
	ウ 整備工場		
	無料	34	
	有料	13	
	処分先のみ	25	
	エ ごみ集積所	5	
	オ その他	15	
カ 不明	7		
計	189		
<b>[消火器]</b>			
Q7 消火器を置いているか。	ア はい	673	
	イ いいえ	327	
	計	1000	
	平均個数	1.73個	
最大個数	20個		

注) \*1:回答/配布数  
\*2:Q19は、表6の通り

問い	区分	回答数
Q8 不用の消火器の有無	ア はい	110
	イ いいえ	859
	計	969
	平均個数	1.37個
最大個数	4個	
Q9 消火器の処分方法で困ったことは。	ア はい	208
	イ いいえ	734
	計	942
Q10 消火器を処分したことはあるか。	ア あり	281
	イ なし	693
	計	974
Q11 消火器の処分先(複数回答)	ア 新品と交換	187
	イ 販売店引取	74
	ウ ごみ集積所	30
	エ その他	53
	オ 不明	30
	計	374
<b>[塗料、シンナー、灯油等]</b>		
Q12 塗料等で不用な缶、瓶の有無	ア はい	160
	イ いいえ	832
	計	992
Q13 缶や瓶を処分したことがあるか。	ア はい	152
	イ いいえ	817
	計	969
Q14 処分方法	ア 布等に染み込ませ、ごみ集積所へ	89
	イ 缶、瓶を販売店が引取	
	無料	14
	有料	12
	処分先のみ	9
	ウ 缶、瓶をごみ集積所	19
	エ その他	44
オ 不明	20	
計	207	
Q15 不用となったスプレー缶の有無	ア あり	314
	イ なし	683
	計	997
	(化粧品) 平均個数	1.90個
	最大個数	10個
	(殺虫剤) 平均個数	1.56個
	最大個数	5個
	(塗料) 平均個数	1.87個
	最大個数	5個
	(その他) 平均個数	2.24個
最大個数	6個	
Q16 不用となった中身入りカセットボンベの有無	ア あり	81
	イ なし	895
	計	976
	平均個数	2.11個
最大個数	10個	
Q17 不用となった中身入りライターの有無	ア あり	152
	イ なし	822
	計	974
	平均個数	4.88個
最大個数	50個	
Q18 中身入りのスプレー缶等をごみ集積所へ出したことがあるか。	ア はい	200
	イ いいえ	795
	計	995